

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年10月8日(2020.10.8)

【公表番号】特表2019-524865(P2019-524865A)

【公表日】令和1年9月5日(2019.9.5)

【年通号数】公開・登録公報2019-036

【出願番号】特願2019-511620(P2019-511620)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/352	(2006.01)
A 6 1 K	31/428	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
A 6 1 P	25/14	(2006.01)
A 6 1 P	25/16	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/713	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/7105	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	21/02	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/352	
A 6 1 K	31/428	
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	25/14	
A 6 1 P	25/16	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	31/713	
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 K	31/7105	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 P	21/02	
A 6 1 P	25/00	

【手続補正書】

【提出日】令和2年8月28日(2020.8.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

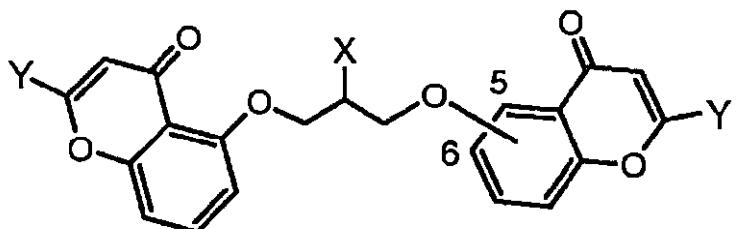
【請求項1】

ニューロン炎症状態の処置を必要とする患者において前記ニューロン炎症状態を処置す

る方法であって、

以下の式：

【化1】



上記式において、

Xは、OH, F, またはOCOCH<sub>3</sub>であり、

Yは、CO<sub>2</sub>Na, CO<sub>2</sub>H, CO<sub>2</sub>Et, CH<sub>2</sub>OH, CH<sub>2</sub>OCOCH<sub>3</sub>, またはCO<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>OCO(CH<sub>3</sub>)<sub>3</sub>である。

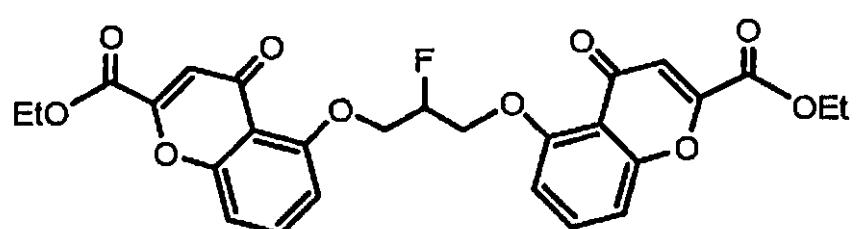
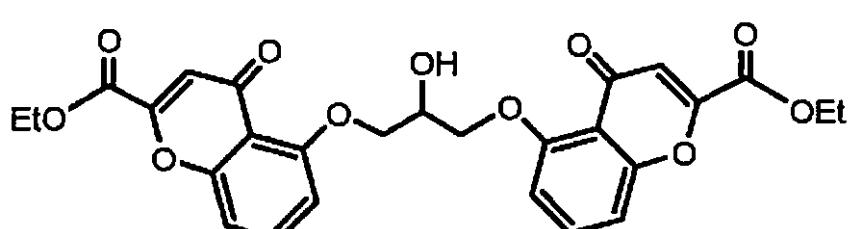
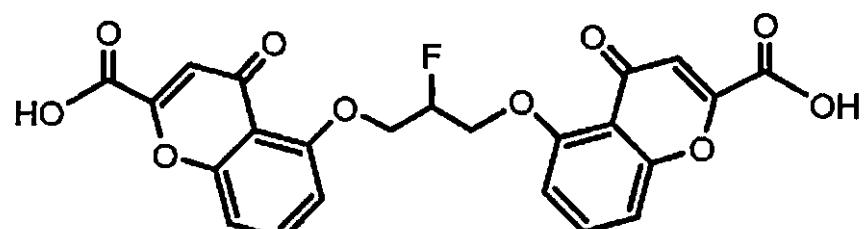
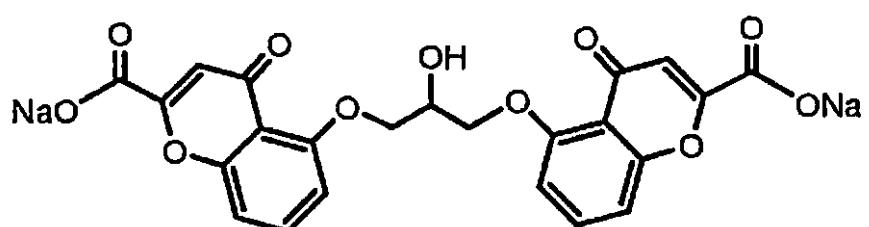
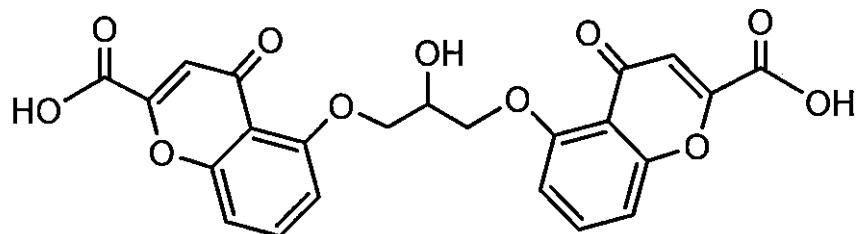
を有する化合物のうち少なくとも1つの前記化合物の治療的有効量を前記患者に投与することを含み、

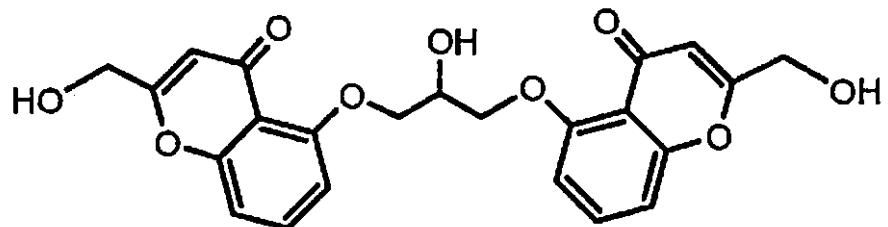
ただし、前記ニューロン炎症状態がA Dの場合は、前記化合物がクロモリンニナトリウム、F - クロモリンニナトリウム、ET - クロモリンまたはF - ET - クロモリンではない、方法。

【請求項2】

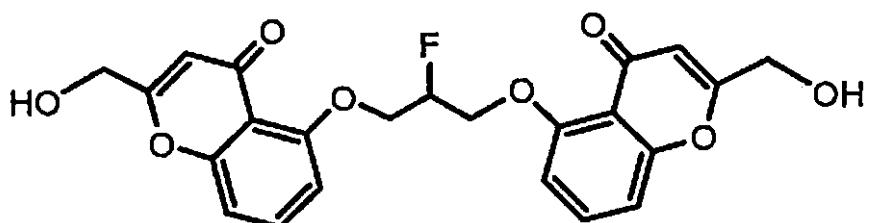
前記化合物が下記の式：

【化2】

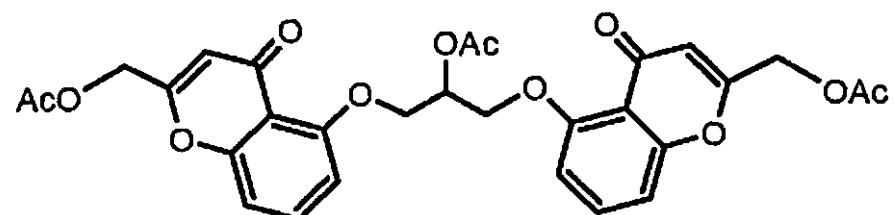




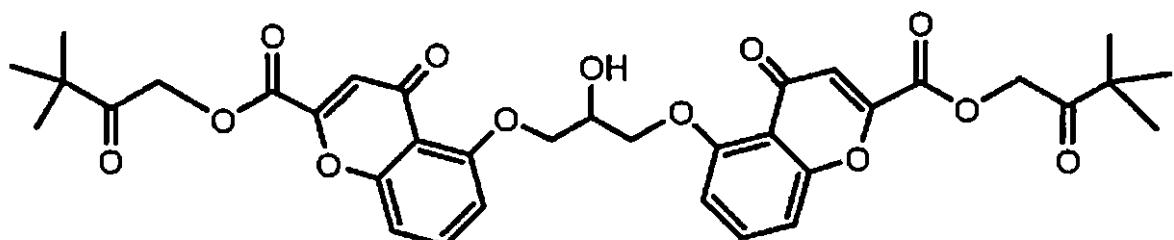
トリオールークロモリン；



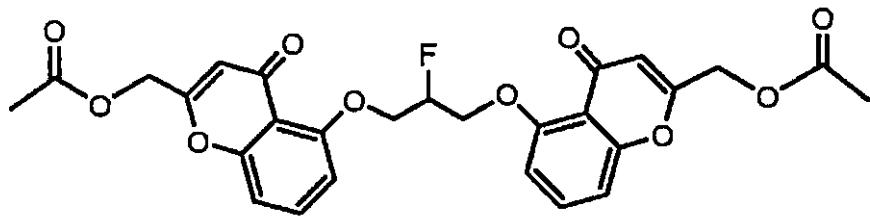
F-トリオールークロモリン；



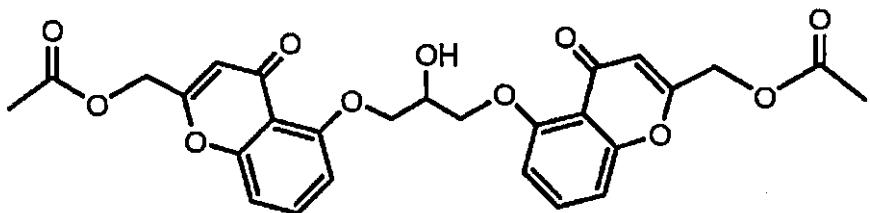
Ac-トリオールークロモリン；



POM-クロモリン；



または



を有する、請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 3】**

前記ニューロン炎症状態が筋萎縮性側索硬化症（ALS）である、請求項 1 または請求項 2 に記載の方法。

**【請求項 4】**

前記ニューロン炎症状態がアルツハイマー病（AD）である、請求項 1 または請求項 2 に記載の方法。

**【請求項 5】**

前記ニューロン炎症がハンチントン病（HD）である、請求項 1 または請求項 2 に記載の方法。

**【請求項 6】**

前記ニューロン炎症がパーキンソン病（PD）である、請求項 1 または請求項 2 に記載の方法。

**【請求項 7】**

前記ニューロン炎症状態が虚血性脳卒中である、請求項 1 または請求項 2 に記載の方法。

**【請求項 8】**

前記ニューロン炎症状態がプリオントン病と関連がある、請求項 1 または請求項 2 に記載の方法。

**【請求項 9】**

前記化合物が腹腔内に（IP）および／または静脈内に（IV）投与される、請求項 1 ~ 8 の何れか 1 項に記載の方法。

**【請求項 10】**

前記化合物が経皮投与される、請求項 1 ~ 8 の何れか 1 項に記載の方法。

**【請求項 11】**

前記化合物が吸入により投与される、請求項 1 ~ 8 の何れか 1 項に記載の方法。

**【請求項 12】**

前記化合物が、1日あたり約 1 mg ~ 約 1 0 0 0 mg の用量で投与される、請求項 1 ~ 11 の何れか 1 項に記載の方法。

**【請求項 13】**

前記化合物が 1 日あたり約 10、約 20、約 30、約 50、約 100 または約 500 m

g の用量で投与される、請求項 1 ~ 11 の何れか 1 項に記載の方法。

【請求項 14】

C D 4 + ; s i R N A ; A L S を寛解させる m i R N A ; グリア形態修飾剤 ; S O D 1 制御薬 ; およびリルゾールから選択される第 2 の化合物を同時投与することをさらに含む、請求項 1 ~ 3 , 9 ~ 13 の何れか 1 項に記載の方法。

【請求項 15】

抗凝固薬および A D に対する標的薬から選択される第 2 の化合物を同時投与することをさらに含む、請求項 1 , 2 , 4 , 9 ~ 13 の何れか 1 項に記載の方法。

【請求項 16】

A D を寛解させる抗体標的薬から選択される第 2 の化合物を同時投与することをさらに含む、請求項 1 , 2 , 4 , 9 ~ 13 の何れか 1 項に記載の方法。

【請求項 17】

A D を寛解させる抗炎症標的薬から選択される第 2 の化合物を同時投与することをさらに含む、請求項 1 , 2 , 4 , 9 ~ 13 の何れか 1 項に記載の方法。

【請求項 18】

A D を寛解させるタウ標的薬から選択される第 2 の化合物を同時投与することをさらに含む、請求項 1 , 2 , 4 , 9 ~ 13 の何れか 1 項に記載の方法。

【請求項 19】

A L S を寛解させる抗体標的薬から選択される第 2 の化合物を同時投与することをさらに含む、請求項 3 , 9 ~ 13 の何れか 1 項に記載の方法。

【請求項 20】

A L S を寛解させる抗炎症標的薬から選択される第 2 の化合物を同時投与することをさらに含む、請求項 3 , 9 ~ 13 の何れか 1 項に記載の方法。

【請求項 21】

アミロイドーシスまたはタウオパチーに関連する神経変性を寛解させる標的薬から選択される第 2 の化合物を同時投与することをさらに含む、請求項 1 ~ 13 の何れか 1 項に記載の方法。

【請求項 22】

P D を寛解させる シヌクレイン標的薬および P D を寛解させるパーキンソン病の標的薬から選択される第 2 の化合物を同時投与することをさらに含む、請求項 6 , 9 ~ 13 の何れか 1 項に記載の方法。